



—東地中海地域ニュース—

ヨルダン：紅海計画

(6月29日付ヨルダン・タイムズ紙)

29日付ヨルダン・タイムズ紙は、ヨルダン政府主導の「紅海計画（JRSP: Jordan Red Sea Project）」について、ムハンマド・ナッジャール・水・灌漑相の発言を引用しつつ概要以下のとおり報じた。

1. 先週（20日からの週）、米政府に対してヨルダンの水に関する危機的な状況及び長期的な解決策としての JRSP の重要性を説明した。この結果、本計画に対する財政支援を見積もることは時期尚早ではあるものの、米政府からはヨルダンが水資源の需要に困難を極めている状況への理解が示された。
2. 多くの機関は、JRSP が世界銀行によるプロジェクト「紅海死海送水計画（RDSP）調査プログラム」と相反するものであるか、同計画に取って代わるものであると考えている節があるが、実際のところ JRSP は世界銀行のプロジェクトを補完するものである。
3. ヨルダンの水資源不足や、死海の水位が徐々に後退していることが死海周辺への投資に悪影響を与え、かつ国際的な遺産に脅威を与えていることから、ヨルダンは JRSP の作成と資金の調達を急いでいる。JRSP は、RDSP の F/S 完了後、直ちに同計画実行のための起点の一部として役立つことを目的としている。